

2018

二輪自動車整備科 シラバス



学校法人京都中央学院

〈専〉YIC京都工科自動車大学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

二輪自動車整備科 教育課程

教育科目	教育内容	教科名	1年生		2年生		合計		
			単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必須科目 (講義)	自動車工学	エンジンの構造、性能	エンジン構造Ⅰ	1	34			1	34
		エンジン構造Ⅱ	1	34			1	34	
		シャシの構造、性能	シャシ構造Ⅰ	1	34			1	34
		シャシ構造Ⅱ	1	34			1	34	
		自動車の力学、数学	基礎自動車工学Ⅰ	1	34			1	34
			基礎自動車工学Ⅱ	1	34			1	34
			自動車工学			1	34	1	34
		電気、電子理論	電気工学Ⅰ	1	34			1	34
			電気工学Ⅱ	1	34			1	34
		材料・図面	材料・製図	1	34			1	34
	燃料、潤滑材	燃料油脂			1	34	1	34	
	危険物取扱	危険物	1	34			1	34	
	自動車整備	エンジンの点検、整備	エンジン整備Ⅰ			1	34	1	34
			エンジン整備Ⅱ			1	34	1	34
		シャシの点検、整備	シャシ整備Ⅰ			1	34	1	34
			シャシ整備Ⅱ			1	34	1	34
		電装の点検、整備	電装整備Ⅰ			1	34	1	34
			電装整備Ⅱ			1	34	1	34
	自動車の故障探求	故障探求			1	34	1	34	
	機器の構造・取扱い	整備作業機器 測定機器、検査機器	検査機器			1	40	1	40
	自動車検査	道路運送車両の保安基準	検査法			1	34	1	34
	自動車整備に関する法規	道路運送車両法	法規			1	34	1	34
		道路運送車両法施工規則							
学科小計			11	374	12	414	23	788	
必須科目 (実習)	工作作業	手仕上げ工作	工作作業実習	1	30			1	30
		機械工作							
	測定作業	基本計測	測定作業実習	2	58			2	58
		エンジンの分解、点検	エンジン実習Ⅰ	6	176			6	176
	自動車整備作業	組立、調整、検査、整備	エンジン実習Ⅱ			6	186	6	186
		シャシの分解、点検	シャシ実習Ⅰ	6	176			6	176
		組立、調整、検査、整備	シャシ実習Ⅱ			6	186	6	186
		電装の分解、点検	電装実習Ⅰ	6	176			6	176
		組立、調整、検査、整備	電装実習Ⅱ			6	186	6	186
		総合的実習	総合実習Ⅰ	4	112			4	112
自動車検査作業	ガス溶接、アーク溶接	総合実習Ⅱ			4	120	4	120	
	定期点検整備 検査作業実習	検査作業実習			2	66	2	66	
実習小計			25	728	24	744	49	1,472	
選択必須			キャリアデザインⅠ	1	34			1	34
			キャリアデザインⅡ	1	34			1	34
選択			損害保険募集人			1	34	1	34
			企業研究	1	34			1	34
			企業研修			1	34	1	34
			ビジネス能力			1	34	1	34
			ビジネス文章力			1	34	1	34
			コンピュータ	1	34			1	34
			プレゼンテーション	1	34			1	34
			論理的思考力			1	34	1	34
			イベントプロデュースⅠ	1	34			1	34
			イベントプロデュースⅡ			1	34	1	34
			ボランティア活動Ⅰ	1	34			1	34
ボランティア活動Ⅱ			1	34	1	34			
選択科目計			7	238	7	238	14	476	
学科、実習合計、選択計			43	1,340	43	1,396	86	2,736	

・単位:1授業単位(90分)×15週を1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途換算する。

・単位:科目履修(単位)認定の要件:出席率90%以上(選択必須、選択に関しては80%以上)および、単位認定試験60点以上、さらに目標認定がある科目は目標の達成。

・卒業の要件:必須科目(国土交通省履修基準72単位および、選択必須3単位以上を含む、合計75単位以上の履修)。

平成30年度 シラバス

科目名	エンジン構造 I		担当者	住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のエンジン関係の構造に於ける基礎知識と作動原理について勉強する。							
学習目的	二輪自動車のエンジン関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. エンジン関係の基礎知識の習得 2. エンジン関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容						備考
第1回	総論	自動車の歴史についての説明が出来るようになる。						
第2回	内燃機関	内燃機関の分類についての説明が出来るようになる。						
第3回	内燃機関	ガソリンエンジンの歴史についての説明が出来るようになる。						
第4回	内燃機関	2、4サイクルエンジンの作動 燃焼 熱効率 についての説明が出来るようになる。						
第5回	エンジン本体	概要 構造と機能についての説明が出来るようになる。						
第6回	エンジン本体	シリンダヘッド シリンダ クランクケース ピストン についての説明が出来るようになる。						
第7回	エンジン本体	ピストンリング コンロッド クランクシャフト についての説明が出来るようになる。						
第8回	エンジン本体	ジャーナルベアリング フライホイール についての説明が出来るようになる。						
第9回	エンジン本体	バルブ機構 バルブ バルブスプリング についての説明が出来るようになる。						
第10回	エンジン本体	バルブ開閉機構 カムチェーン カムシャフト ロッカアーム についての説明が出来るようになる。						
第11回	確認試験	小テスト						
第12回	潤滑装置	4サイクル、2サイクルエンジン潤滑装置 ポンプクリアランスについての説明が出来るようになる。						
第13回	冷却装置	構造・機能 ラジエータ サーモスタット についての説明が出来るようになる。						
第14回	冷却装置	電動ファン 不凍液 混合率と凍結温度 についての説明が出来るようになる。						
第15回	燃料装置	構造・機能 キャブレータ CV式 VM式 についての説明が出来るようになる。						
第16回	燃料装置	フロート系 スロー系 メーン系 始動系 フューエルコック についての説明が出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	三級二輪自動車、ガソリン・エンジン構造							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修の ポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス ・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	エンジン構造Ⅱ		担当者	住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のエンジン関係の構造に於ける基礎知識と作動原理について勉強する。							
学習目的	二輪自動車のエンジン関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. エンジン関係の基礎知識の習得 2. エンジン関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジンとガソリンエンジンの相違点についての説明が出来るようになる。						
第2回	ジーゼルエンジン	潤滑油 エンジンオイル概要についての説明が出来るようになる。						
第3回	ロータリエンジン	ロータリエンジンの作動についての説明が出来るようになる。						
第4回	電気自動車	電気自動車の概要についての説明が出来るようになる。						
第5回	点検・整備	エンジン本体の点検整備についての説明が出来るようになる。						
第6回	点検・整備	吸気装置の点検整備についての説明が出来るようになる。						
第7回	点検・整備	潤滑装置の点検整備についての説明が出来るようになる。						
第8回	点検・整備	排気装置の点検整備についての説明が出来るようになる。						
第9回	点検・整備	排気装置の点検整備についての説明が出来るようになる。						
第10回	点検・整備	冷却装置の点検整備についての説明が出来るようになる。						
第11回	点検・整備	圧縮圧力の測定についての説明が出来るようになる。						
第12回	点検・整備	エンジン脱着時の留意点についての説明が出来るようになる。						
第13回	点検・整備	エンジン脱着時の留意点についての説明が出来るようになる。						
第14回	点検・整備	4気筒直列エンジンのバルブタイミングについての説明が出来るようになる。						
第15回	理解度チェック	練習問題 解答と解説についての説明が出来るようになる。						
第16回	理解度チェック	練習問題 解答と解説についての説明が出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	三級二輪自動車、ガソリン・エンジン構造							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	シャシ構造 I		担当者	住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のシャシ関係の構造に於ける基礎知識と作動原理について勉強する。							
学習目的	二輪自動車のシャシ関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. シャシ関係の基礎知識の習得 2. シャシ関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	動力伝達装置	日本の二輪車工業の歴史について、説明出来るようになる。						
第2回	動力伝達装置	クラッチについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第3回	動力伝達装置	クラッチの操作機構について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第4回	動力伝達装置	ラックピニオン式クラッチについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第5回	動力伝達装置	自動遠心式クラッチについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第6回	動力伝達装置	トランスミッション本体について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第7回	動力伝達装置	変速比及び変速比計算について、作動・構造、計算方法が説明出来るようになる。						
第8回	動力伝達装置	トランスミッションの種類について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第9回	確認試験	小テスト						
第10回	動力伝達装置	ドッグ式トランスミッションについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第11回	動力伝達装置	シンクロメッシュ式について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第12回	動力伝達装置	トランスミッションの操作機構について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第13回	動力伝達装置	ベルト式自動無段変速機について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第14回	動力伝達装置	駆動装置について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第15回	動力伝達装置	ドライブチェーンについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第16回	動力伝達装置	キック始動装置について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	三級二輪自動車							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	シャシ構造Ⅱ		担当者	住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のシャシ関係の構造に於ける基礎知識と作動原理について勉強する。							
学習目的	二輪自動車のシャシ関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. シャシ関係の基礎知識の習得 2. シャシ関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	アクスル及びサスペンション	フロントアクスルについて、種類・構造を説明出来るようになる。						
第2回	アクスル及びサスペンション	フロント・サスペンションについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第3回	アクスル及びサスペンション	リア・アクスルのリンク機構について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第4回	アクスル及びサスペンション	リアサスペンションについて、作動・構造を説明出来るようになる。						
第5回	ステアリング装置	ステアリング装置について、構造を説明出来るようになる。						
第6回	ステアリング装置	ステアリング装置・ハンドルの種類について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第7回	ホイール及びタイヤ	ホイールについて、種類・構造を説明出来るようになる。						
第8回	確認試験	小テスト						
第9回	ホイール及びタイヤ	タイヤについて、種類・構造を説明出来るようになる。						
第10回	ホイール及びタイヤ	ホイール・バランスについて、種類・現象を説明出来るようになる。						
第11回	ホイール・アライメント	フロント・アライメントについて、必要性、前後輪の関係が説明出来るようになる。						
第12回	ブレーキ装置	ドラム式ブレーキ装置について、種類・作動・構造を説明出来るようになる。						
第13回	ブレーキ装置	ディスク式ブレーキ装置について、種類・作動・構造を説明出来るようになる。						
第14回	ブレーキ装置	ディスク式ブレーキ装置について、種類・作動・構造を説明出来るようになる。						
第15回	ブレーキ装置	ブレーキ操作機構について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第16回	フレーム	フレームの種類について、種類・構造を説明出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	三級二輪自動車							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	基礎自動車工学 I		担当者	澁谷 健治	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を習得する							
学習目的	自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. 内燃機関の基礎知識の習得 2. シヤシ関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	自動車の概要	定義・歴史自動車の分類を説明出来るようになる。						
第2回	自動車の構造	自動車の構成・エンジンの原理・作動・構造を説明出来るようになる。						
第3回	ガソリンエンジンの構造	エンジン本体・潤滑装置・冷却装置について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第4回	ガソリンエンジンの構造	燃料装置・吸排気装置について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第5回	ガソリンエンジンの構造	ガソリンエンジンにおいて、必要な電気を常に生み出す装置について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第6回	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジンの概要と、各 부품の構造・作動について、作動・構造を説明出来るようになる。						
第7回	動力伝達装置	概要・クラッチ・トランスミッションについて、種類・構造を説明出来るようになる。						
第8回	動力伝達装置	プロペラシャフトとユニバーサル・ジョイントおよびディファレンシャルについて、種類・構造を説明出来るようになる。						
第9回	動力伝達装置	アクスルおよびサスペンションの構造・作動について、種類・構造を説明出来るようになる。						
第10回	確認試験	小テスト						
第11回	ステアリング装置 ホイールとタイヤ	車両が向きを変えるための装置について、各方式の構造の概要説明が出来るようになる。 タイヤの構造や、取り付けの向きの重要性が説明出来るようになる。						
第12回	ブレーキ装置 フレームとボデー	車両が安全に止まるための装置についてと、車両を構成する骨格の種類とその特徴を説明出来るようになる。						
第13回	灯火装置・計器及び警報装置	灯火装置や計器など、自動車が安全に走行するためには、各種の装置が必要であることを理解し、説明出来るようになる。						
第14回	自動車の材料	自動車の材料として最も多く用いられている鉄鋼とその他の非鉄金属について理解し、自動車各部に要求される性質を説明出来るようになる。						
第15回	自動車の材料	タイヤやガラス・プラスチックなどの部品の特性や種類を理解し、自動車各部に要求される性質を説明出来るようになる。						
第16回	まとめ(期末対策)	学習した内容の総復習を行うことで、期末へ向けたまとめを行う。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	基礎自動車工学							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	基礎自動車工学Ⅱ		担当者	澁谷 健治	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を習得する							
学習目的	自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. 内燃機関の基礎知識の習得 2. シヤシ関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	燃料		燃料に求められる性質、各種潤滑剤について性質を理解し、説明出来るようになる。					
第2回	熱について		熱の伝導、エネルギーについて、説明出来るようになる。					
第3回	燃焼について・力について		燃焼と力の発生を説明出来るようになる。					
第4回	力の計算 (摩擦力・偶力・軸トルク)		力と、質量、トルクとモーメント計算について、説明出来るようになる。					
第5回	重心		重心の概念を理解する。前後の重心の位置関係を、計算で求めることが出来るようになる。					
第6回	速度		物体の速度や加速度の計算を理解することで、車の速度や加速度、エンジンの回転速度等の計算が出来るようになる。					
第7回	仕事と仕事率		仕事と仕事率の概念を理解することで、仕事と仕事率の計算が出来るようになる。					
第8回	圧力と応力		圧力の概念(パスカルの原理)を理解することで、油圧式ブレーキなどの倍力作用を計算出来るようになる。					
第9回	確認試験		小テスト					
第10回	電気と磁気		電気と磁気の特徴を理解することで、モーターと発電機の作動原理を説明出来るようになる。					
第11回	電流と電圧		電流と電圧の関係を理解することで、電気回路の基礎的な計算が出来るようになる。					
第12回	電力と電力量		電力と電力量の関係を理解することで、自動車の充電装置やバッテリーとアクセサリの電力消費を検討することが出来るようになる。					
第13回	導体・不導体と半導体		導体・不導体および半導体の特性を知ることで、自動車に用いられる各種センサなどに用いられる部品を性質を説明出来るようになる。					
第14回	自動車の諸元1		自動車の諸元に表記される各種数値の意味を理解し、排気量と圧縮比の計算が出来るようになる。					
第15回	自動車の諸元2 車両質量と自動車の抵抗・駆動力		自動車の車両質量の意味と車両にかかる各種抵抗・駆動力や燃費の計算が出来るようになる。					
第16回	まとめ		学習した内容の総復習を行うことで、期末へ向けたまとめを行う。					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	基礎自動車工学							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	自動車工学		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	1年生の各学科で学んだ基本的な計算問題や基礎工学的な知識を、2級整備士レベルに高める。整備士に求められる図表の読み方や計算問題の理解力を、共に解いていくことで高めていく。最終目標である国家試験合格を目指し、て実際に出题された当該分野の問題を解くコツを身につける。							
学習目的	学習目的を達成することで、国家試験合格に必要な基礎力と、整備士の職務を全うするために必要な応用力を身につける。							
学習目標	整備士がエンジンを理解し、扱う際に出会うであろう図表や各種単位、計算式を理解することで、諸元や修理書などから必要な数値を読み取り、自らの手で計算が出来るようになる。また、材料の性質を知ることで、適切な整備・修理が出来るようになる。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	計算基礎 1	すべての計算の基本となる乗除の応用を理解することで、自動車整備士に求められる計算式が出来るようになる。						
第2回	計算基礎 2	比例と方程式を理解することで、エンジンの冷却水濃度の計算が出来るようになる。						
第3回	計算基礎 3	単位の考え方を理解することで、必要に応じて時速を分速や秒速に変換したり、mやkmの変換が出来るようになる。						
第4回	計算問題 1	総排気量の計算方法を理解することで、ボア・ストロークおよびシリンダ数から排気量の計算が出来るようになる。						
第5回	計算問題 2	圧縮比の計算方法を理解することで、燃焼室容積と排気量から圧縮比の計算が出来るようになる。						
第6回	計算問題 3	勾配の意味を理解することで、速度と勾配から垂直方向にあがる距離の計算が出来るようになる。						
第7回	計算問題 4	圧力の計算を理解することで、ブレーキの油圧の計算が出来るようになる。						
第8回	計算問題 5	電気回路におけるオームの法則を理解することで、電気の流れを計算で求め、各部の電圧・電流・抵抗値の推定が出来るようになる。						
第9回	材料	車両に最も多く用いられている鉄鋼の組成や性質を理解することで、車両整備や加工等の際に適切に扱うことが出来るようになる。						
第10回	材料	熱処理の種類や方法を知ることで、車両を適切に扱い、また修理することが出来るようになる。						
第11回	材料	焼結合金・非鉄金属の種類や性質を知ることで、車両整備や加工の際に適切な材質を選択し、取り扱うことが出来るようになる。						
第12回	材料	ねじ・ベアリング・ギアの種類や用途、特性を知ることで、車両整備や加工の際に適切な材質のものを選択し、取り扱うことが出来るようになる。						
第13回	燃料・油脂	潤滑剤・燃料・グリースの種類や性質、特性を知ることで、車両整備の際に適切なものを選択し、使用出来るようになる。						
第14回	自動車の諸元	基本的原理・法則を踏まえ、自動車の諸元を正しく読み取れるようになる。						
第15回	速度の計算	車両の重量や速度から、加速度や駆動力、加速力について計算することが出来るようになる。						
第16回	排出ガス対策	排気ガスの種類や特性と、それらの対策を知ることで、適切に車両を整備し、環境に適合した車両を維持することが出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	計算問題を解くノウハウ、基礎自動車工学							
参考書	自動車整備士2級・3級二輪 問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	数 学		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	なぜ整備士が数学をやらねばならないのか。このような疑問を持つ学生は少なくない。本稿ではこの疑問に対し、整備の環境で出会うであろう事例を交えながら問題を一つ一つ解き明かしていくことで、国家試験合格を目指して学習を進めていく。							
学習目的	1、整備士に求められる数学の知識と感覚を身に付けること。 2、国家試験に必要な計算問題を理解し、必要に応じた計算力を身に付けること。							
学習目標	国家試験に出題される計算問題を理解し、解を求めることができる							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	計算の基礎	分数と正負の数の計算ができるようになる						
第2回	計算の基礎	文字式と方程式の計算ができるようになる						
第3回	計算の基礎	割合と比、単位の換算ができるようになる						
第4回	応用計算	トルクと偶力、ばね定数の計算ができるようになる						
第5回	応用計算	圧力の計算ができるようになる						
第6回	応用計算	速度の計算ができるようになる						
第7回	応用計算	走行性能の計算ができるようになる						
第8回	応用計算	力のモーメントの計算ができるようになる						
第9回	応用計算	荷重割合の計算ができるようになる						
第10回	応用計算	ギア機構の計算ができるようになる						
第11回	応用計算	エンジンの圧縮比の計算ができるようになる						
第12回	応用計算	エンジンの排気量の計算ができるようになる						
第13回	応用計算	エンジンの回転速度の計算ができるようになる						
第14回	応用計算	電気（オームの法則）の計算ができるようになる 1						
第15回	応用計算	電気（オームの法則）の計算ができるようになる 2						
第16回	復習	後期期末復習問題						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	自動車整備士 計算の基礎と問題							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	電気工学 I		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の電装関係に於ける基礎知識と作動原理について学習する。 電気と磁気(電子、電流、電圧、抵抗、半導体、電磁力) バッテリー、始動装置、充電装置、点火装置、灯火装置、計器類							
学習目的	二輪自動車の電装関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. 電気の基礎知識の習得 2. 電装各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	電気と磁気	電気(電子、静電気) 電子の構成、自由電子の数、静電気の現象が説明出来るようになる。						
第2回	電気と磁気	電気(電流、電圧、電流の三作用、電源と起電力、交流、直流) 電流と電圧の違い、電流に起こる現象、交流と直流の違いが説明出来るようになる。						
第3回	電気と磁気	電気(電気抵抗、電気回路、オームの法則、直列接続、並列接続) 抵抗の意味、回路図、電気の計算、電気の接続方法が説明出来るようになる。						
第4回	電気と磁気	電気(電圧降下、電力と電力量) 電圧の降下する意味、電力と電力量の違いが説明出来るようになる。						
第5回	電気と磁気	電気(導体、不導体及び半導体、コンデンサ) 導体、不導体、半導体の違い、各特性、使用方法が説明出来るようになる。						
第6回	電気と磁気	磁気(磁極、磁界及び磁力線、磁束と磁束密度) 磁石の磁極、磁界、磁力線、磁束、磁束密度について説明出来るようになる。						
第7回	電気と磁気	磁気(電流による磁界、コイル) 導線に電流を流したときに起こる磁界、磁力線の方向が説明出来るようになる。						
第8回	電気と磁気	磁気(電磁力、フレミング左手の法則、電磁誘導、フレミング右手の法則) 電磁力による応用、電磁誘導による応用されている法則を理解し説明出来るようになる。						
第9回	確認試験	小テスト						
第10回	バッテリー	概要について説明が出来るようになる。 (バッテリーの必要性、分類)						
第11回	バッテリー	構造について説明が出来るようになる。 (開放式バッテリーの構造、極板、電解液、比重)						
第12回	バッテリー	構造について説明が出来るようになる。 (制御弁式バッテリーの構造、特長)						
第13回	始動装置	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (始動装置の必要性、モータの構造、各 부품の役目)						
第14回	始動装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (ワンウェイクラッチの必要性、構造、作動)						
第15回	始動装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (始動装置の回路をみて、各装置の名称、作動、電気の流れ)						
第16回	見直し	練習問題 電気と磁気、バッテリー、始動装置の理解度を確認する						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	基礎自動車工学、三級二輪自動車、三級自動車ガソリン・エンジン							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	電気工学Ⅱ		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の電装関係に於ける基礎知識と作動原理について学習する。 電気と磁気(電子、電流、電圧、抵抗、半導体、電磁力) バッテリー、始動装置、充電装置、点火装置、灯火装置、計器類							
学習目的	二輪自動車の電装関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. 電気の基礎知識の習得 2. 電装各装置の構造、機能、作動を習得 3. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	充電装置	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (充電装置の必要性、マグネット式オルタネータの構造、作動)						
第2回	充電装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (励磁式オルタネータの構造、作動)						
第3回	充電装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (ボルテージレギュレータの役目、作動)						
第4回	充電装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (充電装置の回路図を見て、各部品の名称、発電時、発電停止時の作用)						
第5回	点火装置	概要、構造について説明が出来るようになる。 (点火装置の必要性、イグニッション・コイルの構造、作動原理)						
第6回	点火装置	機能について説明が出来るようになる。 (ハイテンション・コードの構造・役目、スパークプラグの構造、役目、種類)						
第7回	点火装置	機能について説明が出来るようになる。 (CDI点火装置の構成、各部品名称、各部品の役目、作動)						
第8回	点火装置	機能について説明が出来るようになる。 (トランジスタ点火装置の構成、各部品名称、各部品の役目、作動)						
第9回	確認試験	小テスト						
第10回	灯火装置	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (灯火装置の必要性、電球の構造、役目、種類)						
第11回	灯火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (ヘッドランプ、テールランプ、ストップランプの構成、構造、作動)						
第12回	灯火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (ライセンスプレートランプ、ターニングナルランプ、ヒューズの構成、構造、作動)						
第13回	計器	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (スピードメータの種類、構造、機能、作動)						
第14回	計器	構造、機能について説明が出来るようになる。 (各種メータ、ゲージの種類、構成、構造、機能、作動)						
第15回	ホーン、整備	概要、構造、機能、点検、整備について説明が出来るようになる。 (ホーンの構造、作動原理、各電気装置の整備要領)						
第16回	見直し	練習問題 充電装置、点火装置、灯火装置、計器の理解度を確認する						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	基礎自動車工学、三級二輪自動車、三級自動車ガソリン・エンジン							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	材料・製図		担当者	西原 一嘉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車の部品は2万点以上あり、材料には金属・非鉄金属、樹脂、ガラスなどが使用されている。それらの材質、製造方法、用途などを理解することで、整備現場での故障診断などに役立つ。製図については基本的な知識を身につける。							
学習目的	自動車で使用されている部品の材料を知ることで、自動車整備に役立てることが出来る。							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品の概要(部品名称及び材料の知識学習)を第三者に説明が出来る。 ・金属材料の製造方法や特徴を説明が出来る。 ・非金属材料の製造方法や特徴を説明が出来る。 ・その他材料について特徴などを説明が出来る。 ・製図の基本的なことを説明が出来る。 							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	自動車の材料 (金属材料の性質)		「金属材料に必要な性質と試験法」金属の通性を導入に、自動車材料として必要な性質と試験・検査法の種類が説明が出来るようになる。					
第2回	自動車の材料 (金属材料の性質)		「金属材料に必要な性質と試験法」自動車材料としての性質と試験・検査法の方法と限度に於いて説明が出来るようになる。					
第3回	自動車の材料 (鉄鋼材料)		「鉄鋼材料の組織と性質」炭素鋼・特殊鋼について、その熱処理と表面加工、分類と用途について説明が出来るようになる。					
第4回	自動車の材料 (鉄鋼材料)		「鉄鋼材料、鋼板と鋳鉄」自動車等に使用される鋼板と鋳鉄に於いて、その製法と用途について説明が出来るようになる。					
第5回	自動車の材料 (非鉄金属材料)		「各種合金と用途」アルミニウムや銅・亜鉛を代表とする非鉄金属の性質を学び、その性質と使用例について説明出来るようになる。					
第6回	自動車の材料 (非鉄金属材料)		「軸受合金と焼結合金」ケルメット等の性質、焼結合金について学び、その性質と使用例について説明出来るようになる。					
第7回	自動車の材料 (非鉄金属材料)		「非金属材料の種類と用途1」プラスチック、塗料、ゴム、ガラスについて学び、その性質と使用例について説明出来るようになる。					
第8回	自動車の材料 (非鉄金属材料)		「非金属材料の種類と用途2」セラミック、繊維等について学び、その性質と使用例について説明出来るようになる。					
第9回	自動車の材料 (軽量化構造の材料)		「軽量化に於ける構造」モノコック、波板、ハニカム等に代表される軽量化構造とその材料について説明出来るようになる。					
第10回	確認試験		自動車の材料に関する確認試験を行い、習得度のチェックをするのと同時に、解答解説を行い理解度を高める。					
第11回	製図 (規格と様式)		「概要と図面様式」製図の規格、図面の様式等について学ぶのと同時に製図ノート「文字の練習」にて正確に記入出来るようになる。					
第12回	製図 (線・文字・尺度)		「線・文字・尺度」線の種類、文字の書体、尺度について学ぶのと同時に製図ノート「線の用途と練習」にて正確に記入出来るようになる。					
第13回	製図 (図形の表し方)		「投影法」投影法の種類とその補助となる図法を学び製図ノート「投影図」「等角図」を正確に記入出来るようになる。					
第14回	製図 (図形の表し方)		「展開・想像・断面図」展開・想像・断面図と省略について学び製図ノート「展開図」「断面図」を記入出来るようになる。					
第15回	製図 (寸法記入方法)		「寸法と寸法数値の記入」寸法線・引出線・数値表記について学び製図ノート「寸法記入」を記入出来るようになる。					
第16回	製図 (寸法記入方法)		「寸法補助記号の記入」寸法補助記号について学び製図ノート「寸法記入」を記入出来るようになる。					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	自動車材料・製図							
参考書	基礎自動車工学・機械製図練習ノート							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	燃料油脂		担当者	秋篠 捷雄	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	自然界に存在するエネルギーを使って動く、熱機関を学習する。 ガソリンエンジンとディーゼルエンジンについて学習する。 熱機関が動く仕組みや理論、熱機関の燃料やオイルについて学習する。							
学習目的	内燃機関の作動原理や熱効率などについて、より深く学習する。 エンジンに起こるさまざまな現象を理論的に理解し、整備に役立てる。							
学習目標	熱機関におけるガソリン・エンジンやディーゼル・エンジンの位置づけを理解し、説明が出来るようになる。 熱によって仕事をするという概念を理解し、PV線図の説明が出来るようになる。 理論サイクルを理解し、説明が出来るようになる。							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	概要	熱機関の種類と特徴を理解することで、整備するエンジンの位置づけ、特徴の説明が出来るようになる。						
第2回	内燃機関	内燃機関の分類を知ることで、これから扱うことになるエンジンに装着されている部品と部位を把握し、説明が出来るようになる。						
第3回	内燃機関	熱力学用語・仕事と熱を理解することで、燃料が燃えて動力に変わる過程を、理論的に説明が出来るようになる。						
第4回	内燃機関	理想気体の状態式を理解することで、いかに混合気が燃焼し、圧力に変化するかの説明が出来るようになる。						
第5回	内燃機関	燃焼理論を理解することで、適切な空燃比や空気の吸入状況について、理論的に説明が出来るようになる。						
第6回	内燃機関	ガソリン・エンジンの燃焼に関して、空燃比とガソリンの燃焼範囲の理論を理解することで、走行状態に応じてどんな空燃比に制御されているかの説明が出来るようになる。						
第7回	内燃機関	ガソリン・エンジンの燃焼に関して、燃焼過程とノッキングの理論を理解することで、エンジンの機械的・熱的負荷の増大を防ぐ方法の説明が出来るようになる。						
第8回	確認試験	小テスト						
第9回	内燃機関	ディーゼル・エンジンの燃焼理論について理解することで、各状態における理想的な空気過剰率や燃焼過程・ディーゼルのロックとその対策について説明が出来るようになる。						
第10回	内燃機関	自動車排出ガスのメカニズムとその特性および対応策について理解することで、各装置の整備の重要性について説明が出来るようになる。						
第11回	燃料・油脂	エンジンの性能・諸元について理論的に理解することで、諸元から数値を読み取ったり、計算で求めることが出来るようになる。						
第12回	燃料・油脂	石油精製法を理解することで、各種燃料の製法について説明が出来るようになる。						
第13回	燃料・油脂	燃料の状態と規格を理解することで、エンジンの仕様に適した燃料の条件の説明が出来るようになる。						
第14回	燃料・油脂	摩擦力と潤滑作用を理解することで、3つの潤滑状態についてと、潤滑油の作用についての説明が出来るようになる。						
第15回	燃料・油脂	潤滑油の種類や規格について理解することで、車両の各所に適した油脂を選択することが出来るようになる。						
第16回	燃料・油脂	作動油・不凍液の種類や要求される特性を理解することで、車両の仕様に応じた適切な使用方法を検討することが出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	燃料・油脂							
参考書	二級二輪自動車、内燃機関、燃料・油脂							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	危険物取扱者		担当者	各教員	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車にとって、欠かすことのできない燃料のガソリン、軽油や潤滑剤のエンジンオイル、ミッションオイルなどは消防法により危険物に指定されています。それらの知識を知ることによって安全に取り扱うことが出来るようになる。自動車業界にとっては重要な資格である。							
学習目的	危険物取扱者乙種第4類資格の取得							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 自動車業界で取り扱うガソリン、軽油、灯油、油脂類など知識を身につけ、お客様に説明で出来るようになる。 乙種第4類の取り扱い知識を身につけ、適正に取り扱えるようになる。 							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	第1編 物理学と科学の基礎知識		第1章 基礎的物理学及び基礎的科学					
第2回	"		"					
第3回	"		第2章 燃焼の基礎知識					
第4回	"		"					
第5回	"		第3章 消火に関する基礎知識					
第6回	"		"					
第7回	第2編 危険物の性質・消化の方法		第1章 第4類危険物以外の危険物の概論					
第8回	"		"					
第9回	"		第2章 第4類危険物の概論					
第10回	"		"					
第11回	第3編 危険物に関する法令		第1章 消防法					
第12回	"		"					
第13回	"		第2章 危険物の規制に関する政令					
第14回	"		"					
第15回	"		第3章 危険物の規制に関する規則					
第16回	"		"					
第17回	模擬試験		危険物取扱者模擬試験と解説					
教科書	乙4類 危険物取扱者受験教科書							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (模擬試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	エンジン整備 I		担当者	住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	1：二輪自動車のガソリン・エンジンの構造、機能、及び整備について学ぶ。 2：二級整備士の国家試験問題も教材に使用し反復指導し、理解を深める。							
学習目的	二年生のガソリン・エンジンの構造、機能、及び整備点検項目について習得する。							
学習目標	三級二輪自動車、二級二輪自動車の各科目において、自動車整備技能登録試験に合格するレベルまでの知識を習得する。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	ガソリンエンジン本体		3級テキストも兼ねて構造、作及び燃焼の復習					
第2回	燃焼方式及びバルブタイミング		3級テキストも兼ねて燃焼方式及びバルブタイミングについて復習する。					
第3回	ガソリンエンジン性能		主に熱効率図示仕事率と正味仕事率の説明が出来るようになる。					
第4回	ガソリンエンジンの燃焼		ガソリンエンジンの燃焼過程、及びノッキングについて説明することが出来るようになる。					
第5回	排出ガス		排出ガスの発生過程、排出ガスの有害物質(CO、HC、NOx)についての説明が出来るようになる。					
第6回	エンジン本体の構造と機能		4サイクルエンジン作動方式バルブ開閉機構、燃焼室形状について種類・機構が説明が出来るようになる。					
第7回	ピストンとピストンリング		ピストンに働く力、オフセットピストンのメリット、ピストンリング作動、異常現象についての説明が出来るようになる。					
第8回	コンロッドとクランクシャフト		コンロッドのベアリングの種類、要素、クランクシャフト材料、バランス、働く力について説明が出来るようになる。					
第9回	確認試験		小テスト					
第10回	バルブ機構		駆動方式(チェーン、ギヤ)種類、カムシャフト、ロッカ・アーム、バルブスプリングについて説明が出来るようになる。					
第11回	バランス機構		クランクシャフトのアンバランスを相殺するための機構について説明が出来るようになる。					
第12回	潤滑装置		オイルの循環、油圧の調整、オイルの冷却について説明が出来るようになる。					
第13回	冷却装置		ラジエータ、サーモスタット、電動ファンについて説明が出来るようになる。					
第14回	キャブレータ本体		旧二級テキスト及び三級テキストより、種類、機能、名称について説明が出来るようになる。					
第15回	キャブレータ本体2		スタータバルブ、キャブレータの異常現象について説明が出来るようになる。					
第16回	キャブレータ本体3		フューエル・オートコック、エア・カットバルブ、自動式スタータバルブ及び加速ポンプについて説明が出来るようになる。					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	二級二輪自動車、電槽品構造、自動車の故障と探究							
参考書	二級二輪自動車問題と解説、三級二輪自動車問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	エンジン整備Ⅱ		担当者	住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	1：二輪自動車のガソリン・エンジンの構造、機能、及び整備について学ぶ。 2：二級整備士の国家試験問題も教材に使用し反復指導し、理解を深める。							
学習目的	二年生のガソリン・エンジンの構造、機能、及び整備点検項目について習得する。							
学習目標	三級二輪自動車、二級二輪自動車の各科目において、自動車整備技能登録試験に合格するレベルまでの知識を習得する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	理解度チェック		練習問題 解答と解説					
第2回	吸排気装置		吸排気装置の構造・機能、排気制御装置について説明が出来るようになる。					
第3回	吸排気装置 2		排気ガス浄化装置（触媒コンバータ、二次空気供給装置）及び整備について説明が出来るようになる。 1					
第4回	吸排気装置 3		排気ガス浄化装置（触媒コンバータ、二次空気供給装置）及び整備について説明が出来るようになる。 2					
第5回	電子制御装置		概要、構造・機能について説明が出来るようになる。					
第6回	電子制御装置 2		センサ（クランク角センサ、カム角センサ、車速センサ）について説明が出来るようになる。					
第7回	電子制御装置 3		センサ（水温センサ、スロットル・ポジション・センサ、バキューム・センサ、O2センサ、ノックセンサ等）について説明が出来るようになる。					
第8回	電子制御装置 4		センサ（アクチュエータ）及びコントロールユニットによる制御について説明が出来るようになる。					
第9回	理解度チェック		練習問題 解答と解説					
第10回	確認試験		小テスト					
第11回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第12回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第13回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第14回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第15回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第16回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	二級二輪自動車、電槽品構造、自動車の故障と探究							
参考書	二級二輪自動車問題と解説、三級二輪自動車問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上（期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価）							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時（HR教室）							

平成30年度 シラバス

科目名	シャシ整備 I		担当者	岡田 啓史	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のシャシ関係の整備に於ける基礎知識と点検、整備要領について勉強する。							
学習目的	二輪自動車のシャシ関係を整備するための基礎、基本と点検、整備要領を理解する。							
学習目標	1. シャシ関係の整備に関する基礎知識の習得 2. シャシ関係各装置の点検、整備要領の習得 3. 三級、二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	動力伝達装置の概要	二輪自動車の発達、走行抵抗と駆動力の説明が出来るようになる。						
第2回	湿式多板式クラッチ	湿式多板式クラッチの復習						
第3回	自動遠心式クラッチ	構造と機能及び作動原理について解説						
第4回	トランスミッション	三級テキストを活用してドック式6段トランスミッションの復習						
第5回	トランスミッション2	三級テキストを活用してドック式6段トランスミッションの復習						
第6回	ベルト式自動無段変速機	構造と機能及び作動原理について解説及びキックダウン機構の復習						
第7回	確認試験	小テスト						
第8回	駆動装置	チェーン、シャフト、ベルトのそれぞれの駆動方式の違いを学び、説明が出来るようになる。						
第9回	アクスル、サスペンション	サスペンションの性能、上下振動についての説明が出来るようになる。						
第10回	フロントサスペンション	サスペンションの特性、スプリング及びショックアブソーバの種類及び減衰力特性についての説明が出来るようになる。						
第11回	リンク式リヤサスペンション	リンク式サスペンションの特性、スプリング及びショックアブソーバの種類及び減衰力特性についての説明が出来るようになる。						
第12回	サスペンション総合	サスペンションの点検と整備について説明が出来るようになる。						
第13回	ステアリング装置	ステアリング機構の構造・機能及びキャスタ、トレーについて説明が出来るようになる。						
第14回	ステアリング装置2	ハンドル回転軸部、ベアリングの種類、点検・修正について仕組み、方法の説明が出来るようになる。						
第15回	ホイール及びタイヤ	タイヤの特性、構造、機能、についての説明が出来るようになる。						
第16回	タイヤ特性	タイヤのたわみ、転がり抵抗、発熱、振動等について説明が出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	二級二輪自動車、三級二輪自動車							
参考書	(二級二輪自動車、三級二輪自動車) 問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う							
オフィス・アワー	随時 (HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	シャシ整備Ⅱ		担当者	岡田 啓史	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	1：二輪自動車の動力伝達装置、アクスル、サスペンション、ステアリング、タイヤ、ブレーキ及びフレームの構造、機能、及び整備について学ぶ。 2：二級整備士の国家試験問題も教材に使用し反復指導し理解を深める。							
学習目的	二輪自動車の動力伝達装置、アクスル、サスペンション、ステアリング、タイヤ、ブレーキ及びフレーム等を習得する。							
学習目標	三級二輪自動車、二級二輪自動車の各科目において、自動車整備技能登録試験に合格するレベルまでの知識を習得する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	タイヤの整備		整備について、点検項目、整備方法を説明が出来るようになる。					
第2回	タイヤ特性及び整備		タイヤの重量のアンバランスによる振動、走行音、パターン及び整備の説明が出来るようになる。					
第3回	ブレーキ装置		概要、ブレーキ性能、制動距離、摩擦係数についての説明が出来るようになる。					
第4回	ブレーキ装置 2		構造機能、ディスクブレーキについての説明が出来るようになる。					
第5回	ブレーキ装置 3		アンチロック・ブレーキ・システム、制動力制御、液圧制御サイクルについて仕組、作動の説明が出来るようになる。					
第6回	ブレーキ装置 4		ブレーキ装置のトータル面で復習					
第7回	確認試験		小テスト					
第8回	フレーム		フレーム剛性、種類及び材料についての説明が出来るようになる。					
第9回	点検・整備		クラッチ、トランスミッション、ステアリング装置、フォークの点検整備内容の説明が出来るようになる。					
第10回	点検・整備		ブレーキ装置 緩衝装置の点検整備内容の説明が出来るようになる。					
第11回	点検・整備		動力伝達装置 給油点検・整備についての点検整備内容の説明が出来るようになる。					
第12回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第13回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第14回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第15回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第16回	整備士試験		二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	二級二輪自動車、三級二輪自動車							
参考書	(二級二輪自動車、三級二輪自動車) 問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	電装整備 I		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の電装関係に於ける基礎知識と作動原理について学習する。 二輪自動車の故障原因探究の進め方を学習する。							
学習目的	二輪自動車の電装関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気の基礎知識の習得 2. 電装各装置の構造、機能、作動を習得 3. 故障原因探究の進め方、原因の追究を習得する。 4. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容						備 考
第1回	半導体	概要、整流回路の説明が出来るようになる。 (半波整流回路、全波整流回路)						
第2回	半導体	定電圧回路、スイッチング増幅回路の内容を理解し、説明が出来るようになる。						
第3回	半導体	電流増幅回路、発振回路について説明が出来るようになる。						
第4回	半導体	論理回路について説明が出来るようになる。						
第5回	バッテリー	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (極板、電槽、ふた、電解液)						
第6回	バッテリー	構造、機能について説明が出来るようになる。 (化学作用)						
第7回	バッテリー	構造、機能について説明が出来るようになる。 (起電力、特性曲線)						
第8回	バッテリー	構造、機能について説明が出来るようになる。 (自己放電、容量)						
第9回	バッテリー	構造、機能について説明が出来るようになる。 (容量、凍結温度)						
第10回	始動装置	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (始動特性)						
第11回	始動装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (スタータの特性)						
第12回	始動装置	整備内容について説明が出来るようになる。 (分解点検)						
第13回	充電装置	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (励磁式オルタネータの特性)						
第14回	充電装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (ボルテージレギュレータ)						
第15回	充電装置	整備内容について説明が出来るようになる。 (励磁式オルタネータ)						
第16回	充電装置	整備内容について説明が出来るようになる。 (ICボルテージレギュレータ)						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	二級二輪自動車、電槽品構造、自動車の故障と探究							
参考書	二級二輪自動車問題と解説、三級二輪自動車問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	電装整備Ⅱ		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の電装関係に於ける基礎知識と作動原理について学習する。 二輪自動車の故障原因探究の進め方を学習する。							
学習目的	二輪自動車の電装関係の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気の基礎知識の習得 2. 電装各装置の構造、機能、作動を習得 3. 故障原因探究の進め方、原因の追究を習得する。 4. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	点火装置	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (イグニッション・コイル、ICイグナイタ)						
第2回	点火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (進角特性)						
第3回	点火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (マイクロ・コンピュータ式イグナイタの構造)						
第4回	点火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (マイクロ・コンピュータ式イグナイタの機能)						
第5回	点火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (スパーク・プラグの電極温度、熱価)						
第6回	点火装置	構造、機能について説明が出来るようになる。 (スパーク・プラグの着火性能)						
第7回	計器	概要、構造、機能について説明が出来るようになる。 (スピード・メータ、電気式)						
第8回	計器	構造、機能について説明が出来るようになる。 (スピード・メータ、ステップ・モータ式)						
第9回	計器	構造、機能について説明が出来るようになる。 (各種ゲージ、接続方法)						
第10回	計器	構造、機能について説明が出来るようになる。 (置き針式レシーバ・ユニット、フューエル・インジケータ)						
第11回	計器	整備内容について説明が出来るようになる。 (センダ・ユニット、レシーバ・ユニット)						
第12回	理解度チェック	練習問題 解答と解説						
第13回	整備士試験	二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施						
第14回	整備士試験	二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施						
第15回	整備士試験	二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施						
第16回	整備士試験	二級二輪自動車、三級二輪自動車登録試験過去問題実施						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	二級二輪自動車、電槽品構造、自動車の故障と探究							
参考書	二級二輪自動車問題と解説、三級二輪自動車問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	故障探求		担当者	岡田 啓史	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の故障原因探究の進め方を勉強する。							
学習目的	二輪自動車の構造、作動を習得し、整備するための基礎、基本を理解する。							
学習目標	1. 各装置の構造、機能、作動を習得する。 2. 故障原因探究の進め方、原因の追究を習得する。 3. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	故障原因探究	故障原因探究について説明が出来るようになる。						
第2回	故障原因探究	故障探究の効率的な診断について説明が出来るようになる。						
第3回	故障原因探究	故障探究の診断の基礎(的確な問診、現象の確認、原因の探究、再発の防止)の説明が出来るようになる。						
第4回	故障原因探究	エンジン(スタータが作動しない、エンジンの始動困難)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第5回	故障原因探究	エンジン(アイドリング又は低速回転が円滑でない)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第6回	故障原因探究	エンジン(エンジンがオーバーヒートする、エンジンから異音がする)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第7回	故障原因探究	エンジン(エンジン・オイルの消費量が多い、燃料の消費量が多い)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第8回	故障原因探究	シャシ(クラッチの不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第9回	故障原因探究	シャシ(ベルト式自動無段変速機の不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第10回	故障原因探究	シャシ(トランスミッション、キック始動装置の不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第11回	故障原因探究	シャシ(アクスル及びサスペンションの不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第12回	故障原因探究	シャシ(ステアリング装置の不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第13回	故障原因探究	シャシ(タイヤの不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第14回	故障原因探究	シャシ電気装置(ヘッドランプ、ターン・シグナル・ランプの不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第15回	故障原因探究	シャシ電気装置(ストップ・ランプ、ホーンの不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第16回	故障原因探究	シャシ電気装置(計器の不具合)についてトラブルシュートの説明が出来るようになる。						
第17回	期末試験	期末試験						
教科書	二級二輪自動車、自動車の故障と探究							
参考書	二級二輪自動車問題と解説、三級二輪自動車問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う							
オフィス・アワー	随時 (HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	検査機器		担当者	岡田 啓史	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (36時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車の整備工具及び検査機器について、その構造、機能、原理、特徴、操作上の注意点等を学習する。							
学習目的	自動車の使用状態を確認するための各種機器の取り扱いや車両の良否の判定方法を習熟することで、安全・安心を提供できる整備士を目指す。							
学習目標	各授業で扱う機器の構造・作動や取り扱い方法、結果の判定方法について習熟する。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	計測概論		測定と検査・測定誤差について解説。間違いのメカニズムと誤差を防ぐ方法について、説明が出来るようになる。					
第2回	自動車検査用機器		検査機器の概要について解説。検査に必要な機器とそれらの取り扱いについて、説明が出来るようになる。					
第3回	自動車検査用機器		サイドスリップ・テストについて解説。機器の用途・構造・作動および説明が出来るようになる。					
第4回	自動車検査用機器		ブレーキ・テストについて解説。機器の用途・構造・作動および取り扱いについて、説明が出来るようになる。					
第5回	自動車検査用機器		ブレーキ・テストの測定方法について解説。測定結果の判定について、自ら計算が出来るようになる。					
第6回	自動車検査用機器		スピード・メータ・テストについて解説。機器の用途・構造・作動および取り扱いについて、説明が出来るようになる。					
第7回	自動車検査用機器		スピード・メータ・テストの測定方法について解説。測定結果の判定について、自ら計算が出来るようになる。					
第8回	自動車検査用機器		測定結果の判定方法について、小テストを実施することで、計算方法が確実に身につけているかを確認する。					
第9回	自動車検査用機器		スーパ・コンビネーション・テストについて解説。機器の用途・構造・作動および取り扱い上の注意事項について、説明が出来るようになる。					
第10回	自動車検査用機器		ヘッドライト・テストについて解説。機器の機器の用途・構造・作動および取り扱い上の注意事項について、説明が出来るようになる。					
第11回	自動車検査用機器		排気ガス測定器機器について解説。機器の機器の用途・構造・作動および取り扱い上の注意事項について、説明が出来るようになる。					
第12回	自動車検査用機器		黒煙測定器について解説。機器の機器の用途・構造・作動および取り扱い上の注意事項について、説明が出来るようになる。					
第13回	自動車検査用機器		オバシメータについて解説。機器の機器の用途・構造・作動および取り扱い上の注意事項について、説明が出来るようになる。					
第14回	自動車検査用機器		騒音計について解説。機器の機器の用途・構造・作動および取り扱い上の注意事項について、説明が出来るようになる。					
第15回	検査機器全般		検査機器全般 登録試験対策及び試験、解説					
第16回	検査機器全般		検査機器全般 登録試験対策及び試験、解説					
第17回	検査機器全般		検査機器全般 登録試験対策及び試験、解説					
第18回	検査機器全般		検査機器全般 登録試験対策及び試験、解説					
第19回	期末対策		これまで行ってきた授業の内容について総復習を行うことで、期末試験を乗り越えることが出来るようになる。					
第20回	期末対策		期末試験					
教科書	自動車整備工具・機器							
参考書	自動車整備工具・機器 二級二輪自動車							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	検査法		担当者	岡田 啓史	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	この授業では、自動車整備士が日常仕事をする上で必要な条文について、特に自動車の守るべき寸法や重量、装備などの基準を学習する。							
学習目的	道路運送車両法に基づく保安上の技術基準について「道路運送車両法の保安基準」等を学習することで、二級整備士として必要な保安基準等を理解し、車両が保安基準に合致しているか判断が出来るようになる。							
学習目標	各主題を理解し、2級整備士として日常仕事を遂行する上で迫られる車両の保安基準に合致しているかどうか判断が出来るようになる。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	車両の寸法や重量に関する用語について		車両の重量に関する基準について解説。重量について関連する用語の説明が出来るようになる。					
第2回	車両の寸法について		車両の長さ、幅、高さについて解説。車両が基準を満たしているかどうか、正しい測定方法と共に判断が出来るようになる。					
第3回	車両総重量		車両総重量、軸重、輪荷重について解説。車両の重量が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第4回	安定性と最小回転半径		車両の安定性と最小回転半径について解説。車両の安定性と回転半径が基準を満たしているか、判断が出来るようになる。					
第5回	原動機及び動力伝達装置		エンジンと動力伝達装置について解説。車両が基準を満たしているかどうか、正しい測定方法と共に判断が出来るようになる。					
第6回	走行装置など		タイヤ・ホイール等について解説。車両が基準を満たしているかどうか、正しい測定方法と共に判断が出来るようになる。					
第7回	操縦装置、施錠装置、制動装置		ハンドルやアクセル、ブレーキなどの装置やハンドルロック等について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第8回	緩衝装置、燃料装置、電気装置		緩衝装置(サスペンション等)、燃料装置、電気装置について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第9回	確認試験		小テスト					
第10回	車枠、車体、巻き込み防止装置		車枠(フレーム)、車体(ボデー)、巻き込み防止装置について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第11回	乗車装置、運転者席、座席ベルト		乗車装置、運転者席、座席ベルトなどについて解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第12回	非常口、積載荷重、安全ガラス、透過率		非常口、積載荷重、安全ガラス、透過率について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第13回	騒音規制		騒音規制について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第14回	排気ガス規制、前照灯、霧灯、車幅灯		排気ガス規制、前照灯、霧灯、車幅灯について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第15回	側方灯、側方反射器、番号灯		側方灯、側方反射器、番号灯について解説。車両が基準を満たしているかどうか、判断が出来るようになる。					
第16回	期末対策・総復習		これまで行ってきた授業の内容について総復習を行うことで、期末試験を乗り越えることが出来るようになる。					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	法令教材							
参考書	ハンドブック							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	法規		担当者	三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車を取り巻く様々な法律について、2級整備士が日常業務で使用する範囲を学習する。							
学習目的	国家試験に合格し、自動車整備事業における法的手続きを円滑に遂行出来るようになる。							
学習目標	2級整備士に求められる自動車に関連する法的な知識を身に付け、説明が出来るようになる。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	自動車を取り巻く法規制の概要、整備士技能検定制度		整備士の国家試験についてや、自動車の製造・登録・点検や整備など、自動車に関連する法規制を解説。2級整備士に求められる自動車の法律の概要を知り、説明が出来るようになる。					
第2回	道路運送車両法 第一章 総則		道路運送車両法について解説。 道路運送車両法の趣旨とその範囲について、説明が出来るようになる。					
第3回	第二章自動車の登録 (第4条～第16条)		自動車の登録から抹消について解説。登録が必要な自動車の種別や各種届出について、説明が出来るようになる。					
第4回	第二章 自動車の登録 (第19条～第34条)		ナンバープレートの表示や車台番号の打刻、臨時運行について解説。 ナンバープレートや車台番号の取り扱いについて、説明が出来るようになる。					
第5回	第三章 保安基準 第四章 点検整備 (第47条～第55条)		自動車の構造や、装置の基準および点検整備について解説。 車両を適切に維持する責任者や、その時期などについて、説明が出来るようになる。					
第6回	第五章 検査等 (第58条～第61条)		定期点検と検査について解説。自動車の種別ごとの検査の有無や有効期間について、説明が出来るようになる。					
第7回	第五章 検査等 (第62条～第71条の2)		自動車検査の流れや各種届出について解説。検査証の扱いや届出などについて、説明が出来るようになる。					
第8回	第六章 自動車整備事業 (第77条～第89条)		自動車の整備工場を経営するルールについて解説。申請や基準、標識の概要について、説明が出来るようになる。					
第9回	確認試験		小テスト					
第10回	第六章 自動車整備事業 (第90条～第94条の5)		自動車整備事業者の義務や違反したとき受ける命令などについて解説。 民間車検場を運営するルールについて、説明が出来るようになる。					
第11回	第六章 自動車整備事業 (第94条の6～第95条)		民間車検場の運営上のルールや法的立場、整備振興会の役割などについて解説。 料金の請求などのルールについて、説明が出来るようになる。					
第12回	第七章 雑則 (第97条の2～第97条の4)		軽自動車や車検が必要なオートバイの車検について解説。 届出や納税について、説明が出来るようになる。					
第13回	第七章 雑則 (第98条～第99条の2)		軽自動車や車検が必要なオートバイの車検について解説。 不正使用や不正改造について、説明が出来るようになる。					
第14回	道路運送車両法施行規則の別表第1～第5		道路運送車両法施行規則の別表について解説。 各種の基準や規則について、表から情報を読み取ることが出来るようになる。					
第15回	自動車点検基準 第1条～第4条		自動車点検基準の別表について解説。各種点検基準について、表から情報を読み取ることが出来るようになる。					
第16回	期末対策		これまで行ってきた授業の内容について総復習を行うことで、期末試験を乗り越えることが出来るようになる。					
第17回	期末試験		期末試験					
教科書	法令教材							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	工作作業実習		担当者	住本 直哉 三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	1単位 (27時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	各種工作機器、作業用工具の使用方法・取り扱いと工作作業の要領を習熟する。							
学習目的	各種工作機器、作業用工具の使用方法・取り扱いと工作作業の要領を習熟し、基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種工作機器の使用方法・取り扱いの習得 2. 作業用工具の使用方法・取り扱いの習得 3. 工作作業の要領の習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ねじ切り作業	タップによるメネジ切り ダイスによるオネジ切りが出来るようになる。						
	ツールBOX作製	ツールBOX作成 各種工作機器の操作が出来るようになる。						
第2回								
第3回								
第4回								
教科書	基礎自動車整備作業、自動車整備工具・機器							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	測定作業実習		担当者	三宅 伸和 住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	2単位 (52時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	各種測定機器の使用方法・取り扱いと測定技術を習熟する。							
学習目的	各種測定機器の使用方法・取り扱いと測定技術を習熟し、基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種測定機器の使用方法・取り扱いの習得 2. 各種測定機器の測定技術の習得 3. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 4. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	整備の基礎知識 安全作業について	整備に対する基礎知識を学び、安全作業が出来るようになる。						
	測定機器の取り扱い	測定機器(ノギス、マイクロメータ、シリンダゲージ)の取り扱い方法、使用方法、測定方法を理解し、正確に測定出来るようになる。						
第2回	エンジンの測定作業	工具の正確な取り扱い方法、使用方法を学び、3気筒エンジンを分解し、測定機器を使用して正確に各部品を測定し、エンジンを組み付けすることが出来るようになる。 トルクレンチを正確に使用出来るようになる。						
	ねじ、ボルト、ナットについて	ねじ、ボルト、ナットの種類、寸法を学び、説明出来るようになる。 ピッチゲージを使用してピッチを正確に測定出来るようになる。						
第3回								
第4回								
教科書	基礎自動車整備作業、自動車整備工具・機器							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	エンジン実習 I		担当者	住本 直哉 三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	6単位 (158時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のエンジン関係の構造及び作動原理を単体部品及び実車を使用して習得する。 二輪自動車のエンジン関係の分解、組み立て要領、点検要領を単体部品又は、実車を使用して習得する。 エンジン関係の点検機器、測定機器の取り扱いと測定技術を習得する。							
学習目的	二輪自動車のエンジン関係の構造、作動を習得し、点検・整備を単体部品や実車を使用して基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジン関係の基礎知識の習得 2. エンジン関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 実車を使用してエンジン各装置の点検方法の習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	エンジン総論 工具の取り扱い	2気筒エンジン、シリンダヘッド構造確認・分解組み付けが出来るようになる。						
	2、4サイクルエンジン相違点	単体エンジン分解組み付けが出来るようになる。 2サイクルDIO 4サイクルC50						
第2回	2サイクルエンジン脱着	DIOエンジン脱着分解組み付けが出来るようになる。 主要部品測定 良否判定						
	4サイクルエンジン脱着	C50エンジン脱着分解組み付けが出来るようになる。 潤滑装置分解測定 良否判定						
第3回	燃 料 装 置	CV式、VM式キャブ フューエルポンプ構造確認・分解組み付けが出来るようになる。						
	4サイクルバルブタイミング	エストレア単体エンジン分解組み付けが出来るようになる。 バルブタイミング 潤滑装置						
第4回	4サイクルエンジン脱着	C50 エストレア エンジン脱着分解組み付けが出来るようになる。 主要部品測定 良否判定						
	圧縮圧力 ジーゼル構造確認	GPZ250R圧縮圧力測定が出来るようになる。						
教科書	三級二輪自動車、三級自動車ガソリン・エンジン							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	エンジン実習Ⅱ		担当者	住本 直哉 三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	6単位 (167時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	車種別に実践実技実習による整備技術を習得する。							
学習目的	安全作業を基本とした整備作業の習得。 実車を多様した即戦力に繋がる整備作業の習得。							
学習目標	二輪自動車の各機能に対する解説と分解、点検、測定、組み付けに対する整備作業の習得 二級二輪自動車登録試験合格を目標にした試験対策効果試験内容の習得							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	VTR250エンジン		V型2気筒エンジン取り外し、分解、点検、測定、バルブ開閉機構 シリンダ内径、摩耗量、ピストン外形計測が出来るようになる。					
	VTR250エンジン②		V型2気筒 潤滑系統、冷却系統、燃料装置について、 説明が出来るようになる。					
第2回	CB400エンジン		直列4気筒 エンジン車両より取り外し、単体エンジンにて 分解、点検、測定、組み付けが出来るようになる。					
	CB400エンジン②		直列4気筒 燃料装置 CV式キャブレータ分解、点検、測定、組み付け、同調調整が 出来るようになる。					
第3回	CBX750エンジン		直列4気筒 シリンダ・ヘッド取り外し、点検、 バルブ機構、ラッシュアジャスタ機構について、 説明が出来るようになる。					
	CBX750エンジン②		直列4気筒 燃料装置 CV式キャブレータ分解、点検、測定、組み付けが出来るようになる。					
第4回	エンジン故障探究		エンジン本体、潤滑系統、冷却系統、燃料系統の異常を 発見することが出来るようになる。					
	エンジン燃料装置		ホンダ、スズキ、ヤマハ、カワサキの二輪車の キャブレータ分解、組み付け、同調調整が出来るようになる。					
教科書	二級二輪自動車、三級二輪自動車							
参考書	(二級二輪自動車、三級二輪自動車) 問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修の ポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス ・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	シャシ実習 I		担当者	住本 直哉 三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	6単位 (158時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車のシャシ関係の構造及び作動原理を単体部品及び実車を使用して習得する。 二輪自動車のシャシ関係の分解、組み立て要領、点検要領を単体部品又は、実車を使用して習得する。 シャシ関係の点検機器、測定機器の取り扱いと測定技術を習得する。							
学習目的	二輪自動車のシャシ関係の構造、作動を習得し、点検・整備を単体部品や実車を使用して基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. シャシ関係の基礎知識の習得 2. シャシ関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 実車を使用してシャシ各装置の点検方法の習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	制動装置	ドラムブレーキの単体分解、構造確認、組み付けが出来るようになる。						
	動力伝達装置	エストレアの湿式多板クラッチ・単板クラッチの分解、構造確認、組み付けが出来るようになる。						
第2回	フロントサスペンション	D I O ・ C 5 0 のフロントサスペンション脱着、構造確認、分解主要部品測定組み付けが出来るようになる。						
	油圧式ブレーキ リアサス脱着	エストレアのディスクブレーキ・リアサスペンションの脱着、分解、組み付け、主要部品の測定、良否判定、組み付けが出来るようになる。						
第3回	無段変速機	D I O の無段変速機の脱着、分解、組み付け、主要部品の測定、良否判定、組み付けが出来るようになる。						
	自動遠心クラッチ 減速装置	C 5 0 の自動遠心クラッチの脱着、分解、組み付け、主要部品の測定、良否判定、組み付けが出来るようになる。 D I O のファイナルリダクション、ドリブンプーリの分解、組み付けが出来るようになる。						
第4回	ステアリング装置	エストレアのフロントサスペンション、ステアリングの分解、組み付けが出来るようになる。						
	タイヤ・ホイール	エストレアのタイヤ交換、ホイールバランス調整、ホイールベアリングの点検が出来るようになる。						
教科書	三級二輪自動車、三級自動車ガソリン・エンジン							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	シヤシ実習Ⅱ		担当者	住本 直哉 三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	6単位 (167時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	車種別に実践実技実習による整備技術を習得する。							
学習目的	安全作業を基本とした整備作業の習得。 実車を多様した即戦力に繋がる整備作業の習得。							
学習目標	二輪自動車の各機能に対する解説と分解、点検、測定、組み付けに対する整備作業の習得 二級二輪自動車登録試験合格を目標にした試験対策効果試験内容の習得							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	VTR250シヤシ	V型2気筒 動力伝達装置 トランスミッション分解、点検、測定、組み付けが出来るようになる。						
	CB400シヤシ	直列4気筒 動力伝達装置 トランスミッション分解、点検、測定、組み付けが出来るようになる。						
第2回	CB400シヤシ②	直列4気筒 ステアリング装置 分解、点検、測定、組み付け、起動トルク点検が出来るようになる。						
	CB400シヤシ③	直列4気筒 駆動装置 タイヤ、ホイール、ドライブチェーン交換が出来るようになる。						
第3回	CBX750シヤシ	直列4気筒 フロントサスペンション分解、組み立てが出来るようになる。						
	CBX750シヤシ②	直列4気筒 フロント・リヤホイールホイールベアリング交換が出来るようになる。						
第4回	CBX750シヤシ③	直列4気筒 制動装置 フロント・リヤ油圧ブレーキ、マスターシリンダ分解、点検、測定、組み付けが出来るようになる						
	CBX750シヤシ④	直列4気筒 動力伝達装置 クラッチ油圧装置、バックトルクリミット機構・分解、点検、測定、組み付けが出来るようになる。						
教科書	二級二輪自動車、三級二輪自動車							
参考書	(二級二輪自動車、三級二輪自動車)問題と解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	電装実習 I		担当者	三宅 伸和 住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	6単位 (158時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の電装の構造及び作動原理を単体部品及び実車を使用して習得する。 二輪自動車の電装関係の分解、組み立て要領、点検要領を単体部品又は、実車を使用して習得する。 電装関係の点検機器、測定機器の取り扱いと測定技術を習得する。							
学習目的	二輪自動車の電装関係の構造、作動を習得し、点検・整備を単体部品や実車を使用して基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気の基礎知識の習得 2. 電装各装置の構造、機能、作動を習得 3. 実車を使用して電装各装置の点検方法の習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	電気の基礎	電気の基礎の電圧、電流、抵抗の測定が正確に出来るようになる。						
	電流と磁界	電流と磁界の関係、右ネジの法則、フレミングの法則が説明出来るようになる。 電磁誘導作用、相互誘導作用が起こる現象が説明出来るようになる。						
第2回	始動装置	バッテリーの構造、種類の説明出来、電圧点検、比重点検、放電量測定が出来るようになる。 スタータ・モータの構造、分解、点検、組付、作動説明が出来ようになる。 車両にて始動装置回路が配線図を使用して点検が出来ようになる。						
	充電装置	オルタネータの構造確認、分解、点検、組付が出来ようになる。 車両にて充電装置回路が配線図を使用して点検が出来ようになる。						
第3回	点火装置	イグニッション・コイル、ハイテンション・コード、スパーク・プラグ、CDIユニット単体での点検が出来ようになる。						
	点火装置	車両にて点火装置回路が配線図を使用して点検が出来ようになる。						
第4回	計器・灯火装置	計器装置の構造確認、分解、点検、組付け、作動確認が出来ようになる。 灯火装置の構造確認、分解、点検、組付け、作動確認が出来ようになる。 車両にて計器、灯火装置回路が配線図を使用して点検が出来ようになる。						
	点滅回路	点滅回路作製、作動確認 半導体を使用して点滅回路が作製でき、コンデンサ充放電、トランジスタの作動が理解でき説明が出来ようになる。						
教科書	三級二輪自動車、電装品構造							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	電装実習Ⅱ		担当者	三宅 伸和 住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	6単位 (167時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の電装関係の構造及び作動原理を単体部品及び実車を使用して習得する。 二輪自動車の電装関係の分解、組み立て要領、点検要領を単体部品及び実車を使用して習得する。 電装関係の点検機器、測定機器の取り扱いと測定技術を習得する。							
学習目的	二輪自動車の電装関係の構造及び作動を習得し、点検・整備を単体部品や実車を使用して基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気の基本知識の習得 2. 電装関係各装置の構造、機能、作動を習得 3. 実車を使用して電装関係各装置の点検方法の習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	電気回路の基本 始動装置	電気回路の基本、作動、電圧測定、不具合別電圧、始動装置回路図、各単体部品点検、電圧測定を車両でのトラブルシュートを理解し、説明することが出来るようになる。						
	充電装置	充電装置回路図、各単体部品点検 整流作用、低電圧回路点検・車両でのトラブルシュート(暗電流など)の内容を理解し、説明することが出来るようになる。						
第2回	点火装置	点火装置回路図、各単体部分点検 車両でのトラブルシュート・(イニシャル電圧、各ピーク電圧測定)の内容を理解し、出来るようになる。						
	計器・灯火装置	計器・灯火装置回路図、各単体部品点検、配線図の見方、各装置の作動が車両で点検が出来るようになる。						
第3回	トラブルシュート	車両(400CC)を使用して始動、充電、点火、計器、灯火装置のトラブルシュート、手順書の作成が出来るようになる。						
	交互点滅回路	交互点滅回路作製が出来るようになる。 (コンデンサ、トランジスタの作動、点滅周期)						
第4回	電子制御燃料噴射装置	各部品の役割、作動確認、作動電圧点検、現象確認、トラブルシュート(異常コード確認、手順)が出来るようになる。						
	電装全般	電装全般 登録試験対策及び試験、解説						
教科書	二級二輪自動車、電装品構造							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	総合実習 I		担当者	住本 直哉 三宅 伸和	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	4単位 (100時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	基本作業である分解、組み付けが正確に行えるようにする。 工具、特殊工具、テストの使用法・取り扱い要領を習熟する。							
学習目的	工具、特殊工具、テストの使用法・取り扱いを習熟し、分解、組み付けの基礎、基本を理解する。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工具、特殊工具の使用法・取り扱いの習得 2. テスタの使用法・取り扱いの習得 3. 分解、組み付け作業の要領の習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 三級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	基礎作業	2気筒エンジン分解組み付け、 4気筒エンジンシリンダヘッド分解組み付け、 基礎作業、工具の取り扱い、特殊工具の取り扱いが 出来るようになる。						
	基礎作業	2気筒エンジン分解組み付け、 4気筒エンジンシリンダヘッド分解組み付け、 基礎作業、工具の取り扱い、特殊工具の取り扱いが 出来るようになる。						
第2回	基礎作業	水平対向エンジンの分解、組み付け ピストンクリアランス算出、プラスチックゲージ取り扱いが 出来るようになる。						
	基礎作業	水平対向エンジンの分解、組み付け ピストンクリアランス算出、プラスチックゲージ取り扱いが 出来るようになる。						
第3回	基礎作業	4気筒ジーゼルエンジン構造確認 圧縮圧力測定、スパークプラグテスター取り扱いが出来るようになる。						
	基礎作業	4気筒ジーゼルエンジン構造確認 圧縮圧力測定、スパークプラグテスター取り扱いが出来るようになる。						
第4回	基礎作業	総合復習実習						
	基礎作業	総合復習実習						
教科書	基礎自動車整備作業、自動車整備工具・機器							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修の ポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス ・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	総合実習Ⅱ		担当者	三宅 伸和 住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31通期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	4単位 (108時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	ガス溶接、アーク溶接の技術を習得する。							
学習目的	溶接作業の安全な作業、基本作業を理解する。							
学習目標	アセチレン溶接、アーク溶接について、機器の特性及び取り扱いについて、安全に作業を進めるための注意すべき内容を実習を通じて溶接作業が出来るようになる。また、ガス溶接、アーク溶接「受講済証」を習得するレベルまでの技術を身に付けられるようになる。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ガス溶接作業	ガス溶接作業の基礎知識や基本作業の知識を習得し、溶かし込み、突き合わせ、溶断が出来るようになる。						
	アーク溶接作業	アーク溶接作業の基礎知識や基本作業の知識を習得し、ストリンガビート、ウィービング、突き合わせ、すみ肉溶接が出来るようになる。						
第2回	総合全般	総合全般(実習)						
		登録試験対策及び試験、解説						
第3回								
第4回								
教科書	ガス溶接作業、アーク溶接作業							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	検査作業実習		担当者	三宅 伸和 住本 直哉	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31後期
区分	専門科目 (実習)	必修	単位 (時間)	2単位 (59時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	二輪自動車の定期点検整備作業の手順を習得する。 二輪自動車の検査(車検)整備作業を手順を習得する。 点検、検査(車検)作業で使用する点検機器、測定機器の取り扱いと測定技術を習得する。							
学習目的	二輪自動車の点検、検査(車検)整備作業を実車を使用して流れを習得する。 (受け入れ、整備、中間検査、完成検査、整備記録簿記入、納車準備、納車説明など)							
学習目標	1. 定期点検整備作業の流れの習得(受け入れから引き渡しまで) 2. 検査(車検)整備作業の流れの習得(受け入れから引き渡しまで) 3. 点検機器、測定機器の取り扱いと測定技術を実車を使用して習得 4. 安全作業、整理、整頓、清掃の基本的作業の習得 5. 二級二輪自動車整備士登録試験の合格ライン							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	定期点検整備作業	定期点検整備作業の手順 受け入れ、整備作業、完成点検(排気ガス・テスト) 定期点検整備記録簿の記入要領を理解し、作業及び説明が出来るようになる。						
	検査(車検)整備作業	検査(車検)整備作業の手順 受け入れ、整備作業、完成点検(スピード、ブレーキ、排気ガス・テスト) 指定整備記録簿の記入要領を理解し、作業及び説明が出来るようになる。						
第2回	検査整備作業全般	検査整備作業全般 登録試験対策及び試験、解説						
第3回								
第4回								
教科書	二級二輪自動車、自動車定期点検整備の手引き、二輪自動車検査ハンドブック							
参考書	法令教材							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、レポート点15%で評価)							
履修のポイント	各授業で理解不足と判断した者に対して、放課後に勉強会を行う。							
オフィス・アワー	随時(実習場、HR教室)							

平成30年度 シラバス

科目名	キャリアデザイン I		担当者	飛田・金森・担任	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	自動車整備士として、身につけておくべき社会人マナーや就職活動時の常識を学ぶ							
学習目的	内定取得までの方法、社会人としての行動、発言の向上							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己PRが人前で出来るようになる 面接での立ち居振る舞いを身につけ、社会人としての意識を向上させる 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	就職活動の流れ	内定までの流れを説明し、就職希望調査を記入させる						
第2回	挨拶の重要性	声出し練習、働くことについて、過去の振り返り						
第3回	第一印象	声出し練習、働くことについて、現在の確認						
第4回	自己PRの作成1	声出し練習、働くことについて、自己PR作成						
第5回	夏季企業訪問に向けて	声出し練習、身だしなみチェック、訪問時の所作						
第6回	自己PRの作成2	声出し練習、働くことについて、整備士なろうと思った理由						
第7回	履歴書の作成	声出し練習、履歴書作成						
第8回	面接対策	声出し練習、面接対策DVD視聴後練習、自己PR、整備士になろうと思った理由						
第9回	学内合同企業説明会に向けて	声出し練習、身だしなみチェック、訪問時の所作						
第10回	社会人の基礎力1	社会人マナー						
第11回	社会人の基礎力2	社会人マナー						
第12回	社会人の基礎力3	社会人マナー						
第13回	社会人の基礎力4	社会人マナー						
第14回	模擬試験	社会人マナー						
第15回	模擬試験	一般常識問題						
第16回	模擬試験	一般常識問題						
第17回	試験	認定試験						
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	就職活動を意識し、社会人として自覚を持てるようになること							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ		担当者	飛田・金森・担任	学科	二輪自動車整備科	開講期	H30後期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (30時間)	学年	1学年	曜日 時限	
授業の概要	経済環境の急速な変化のもと、職業教育・キャリア教育の必要性和重要性がますます高まっている。本講座では、学生が充実したキャリアを形成していくと同時にビジネス能力の向上が図れる学びを提供する。							
学習目的	期待される社会人・職業人を目指せるようになる							
学習目標	自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識及び、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておこべきことを学ぶ							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	ビジネスとコミュニケーションの基本		キャリアと仕事へのアプローチ					
第2回	ビジネスとコミュニケーションの基本		仕事の基本となる8つの意識					
第3回	ビジネスとコミュニケーションの基本		コミュニケーションとビジネスマナーの基本					
第4回	ビジネスとコミュニケーションの基本		指示の受け方と報告、連絡・相談					
第5回	ビジネスとコミュニケーションの基本		話し方と聞き方のポイント					
第6回	ビジネスとコミュニケーションの基本		来客応対と訪問の基本マナー					
第7回	ビジネスとコミュニケーションの基本		会社関係での付き合い					
第8回	仕事の実践とビジネスツール		仕事の取り組み方					
第9回	仕事の実践とビジネスツール		ビジネス文章の基本					
第10回	仕事の実践とビジネスツール		電話応対					
第11回	仕事の実践とビジネスツール		データの読み方・まとめ方					
第12回	仕事の実践とビジネスツール		情報収集とメディアの活用					
第13回	仕事の実践とビジネスツール		会社を取り巻く環境と経済の基本					
第14回	模擬試験		一般常識問題					
第15回	模擬試験		一般常識問題					
第16回	模擬試験		一般常識問題					
第17回	試験		認定試験					
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級							
参考書	一般常識問題集							
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (期末試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント	就職活動を意識し、社会人として自覚を持てるようになること							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	損害保険募集人		担当者	各教員	学科	二輪自動車整備科	開講期	H31前期
区分	専門科目 (講義)	必修	単位 (時間)	1単位 (27時間)	学年	2学年	曜日 時限	
授業の概要	損害保険の募集に携わるため、保険契約者の利益を損なうことなく、適正な保険募集を行うために必要な知識を十分身に着ける。 基礎単位：損害保険の基礎や募集コンプライアンスなど損害保険の募集のための基礎的な知識の習得 自動車単位：自動車保険の仕組みや契約条件、管理、周辺知識の習得							
学習目的	損害保険募集人資格 基礎単位と自動車単位の取得							
学習目標	損害保険の募集に関する知識を身に付け、顧客ニーズに応じたわかりやすい説明が行えるようになる。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	基礎単位 第1編 損害保険の基礎知識		第1章 リスクと保険 第2章 損害保険の社会的役割					
第2回	"		第3章 保険の仕組み 第4章 損害保険商品					
第3回	基礎単位 第2編 保険募集の基本ルール		第1章 コンプライアンス 第2章 保険業法 第3章 関連法令・ルール					
第4回	基礎単位 第3編 保険募集の基本と心構え		第1章 保険契約の引受け 第2章 保険料・保険契約の管理					
第5回	"		第3章 事故・苦情への対応 第4章 保険募集人の心構え					
第6回	基礎単位 第4編 損害保険に周辺知識		第1章 損害賠償 第2章 社会保険					
第7回	"		第3章 災害時の公的支援制度 第4章 税務・相続 第5章 隣接業界					
第8回	自動車単位 第1編 商品の仕組み		第1章 リスクと保険					
第9回	"		第2章 自動車保険の補償内容 第3章 自賠責保険					
第10回	自動車単位 第2編 契約条件の確認		第1章 自動車保険の契約条件・保険料率 第2章 被保険者 第3章 被保険自動車					
第11回	"		第4章 保険金額 第5章 ノンフリート等級別料率 第6章 保険期間・保険料支払い方法					
第12回	自動車単位 第3編 契約引受け・契約管理		第1章 自動車保険の引き受け 第2章 保険契約の管理 第3章 自動車保険の事故対応					
第13回	"		第4章 自動車保険の苦情対応 第5章 事故の防止と防犯					
第14回	自動車単位 第4編 周辺知識		第1章 損害賠償に関する基礎知識 第2章 関係法令					
第15回	模擬試験		模擬試験 基礎単位 模擬試験 自動車単位					
教科書	損害保険募集人一般試験 教育テキスト【基礎単位】及び【自動車単位】							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席率80%以上 (模擬試験70%、態度点15%、小テスト又はノート点15%で評価)							
履修のポイント								
オフィス・アワー								

2018 二輪自動車整備科 シラバス

発行 <専>YIC京都工科自動車大学校

発行日 平成30年 4月 1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。